みんなの広場　意見特集

新市長に期待する

市民の皆さんは新市長に何を望み、何を期待しているのでしょうか。今後の市政運営に反映させるべく、皆さんからこれについての意見を募集したところ、多くの方々から貴重なご意見を頂きました。「みんなの広場」では、これらを意見特集として紹介します。

もっと緑と文化施設を

佐藤 祐司（小針が丘・59歳）

過日、白壁の町、倉敷市を訪ねた。古びた静かな町のたたずまいの中で、文化的雰囲気に包まれ、羨望を感じた。街の中を流れている小川も清く、魚も泳いでいる。

わが新潟市はどうであろうか。「新潟砂漠」と悪口を言われるほど樹木が乏しく、公園、市民の憩いの広場なども不足している。

新潟市民のオアシス、ゆっくりとくつろげる憩いの広場とも言うべき広大な公園、緑地帯をぜひとも増やしてほしい。新潟市の情緒のシンボルであった、東堀、西堀などの堀、しだれ柳、桜、橋など、惜しいかな全く姿を消したのは本当に寂しい。復活はできないものだろうか。

ビルディングやアスファルトジャングルだけの人工都市では、殺風景、無味乾燥、殺伐として潤いと情緒を欠く。

海岸地域にも緑がもっと欲しい。グミの群生していた昔に戻したい。保安林は真にやむを得ないほかは絶対に解除してはならない。一度失われた自然は復旧しないからである。

本当の文化都市の名にふさわしいように、市立劇場、音楽ホール、美術館、博物館等の文化施設をもっと増設し、充実を図るようにして欲しいものである。

曽野木地区に福祉センターの建設を

佐藤 正栄（曽川乙・64歳）

曽野木団地は新興住宅地として建設され十余年になり、その戸数も年々増加し、近い将来二千余世帯にも及ぶ発展途上にあります。従って、曽野木団地内の人口増は必至であります。

しかも、隣接地に鳥屋野潟を有し、鐘木地内に公園総合グラウンド・私立高校等が設立され、主要道路も着々と整備され、計画が実行されつつあります。ここ二、三年で、環境の変化はめざましいものです。

そのような変化に臨み、団地の隣接になる総合グラウンド周辺の一角に、福祉センター（仮称）を建設することを強く希望します。

なぜなら、団地内には現在それに対応する施設がありません。健全な青少年の育成、老人高齢者のサークル活動、冠婚・スポーツなどの各種催し物等に利用できるような施設を重ねて希望します。

今後、地内に在住する者として、次の世代のためにも、住民運動の一端として進めていきたいと思っております。

国際障害者年市行動計画の実行を

平沢 貞盛（五十嵐二・62歳）

人間都市「新潟」は住み良い「まち」。川上前市長は市民生活優先を基本に、「生活環境基準」をプランし実行に着手された。若杉新市長はこれを継承し、困難な財政下、さっそく昭和五十八年度の予算案を策定された。

新市長には、困難あるも時々の情勢の変化を踏まえつつ、この「まち」づくりを実行すべくご尽力をお願い致します。

福祉は後退させないーという施政方針は、障害者福祉の仕事に従事する者として心強いものです。

障害者福祉向上のため、国際障害者年の運動が「完全参加と平等」をテーマに展開されましたが、これが十年間の運動であることを承知の方は案外少ないように思います。

障害者福祉施策は、基本に「生活環境基準」があり、詳細は「国際障害者年新潟市行動計画」によっています。昭和五十八年度の障害福祉施策案については、これに基づく喜ばしい諸計画が発表されましたが、今後八年間、この行動計画が着々と実行されるようお願い致します。特になんとか就労の場をと思っています。

丈夫ないわゆる健常者と障害者がいることが当然とだれもが考え、むしろ障害者とことさら言わなくても、それが当然である「まちづくり」、どんなにハンディがあっても住みやすい「まちづくり」をお願いいします。

事務事業の見直しを恒常的に

小泉 一也（新石山3・61歳）

選挙公約の即実行は至難であり容易なことではないと考えますが、この公約をフィードバックして着実に消化実践することが市民の信頼につながるものと思います。

現在実施中の「事務事業の見直し」、つまり〝先憂後楽〟の先べんともいえる「市役所行革」は、臨調行革の先取り実施であり、これを一過性とすることなく恒常的に実施することを強く望みます。

この見直しにより、一億五千万円余（年度末予想）が浮くという。この努力は貴重だと思います。

が、この中で市営住宅家賃の値上げ（三九％強、六千百万円）が見直しの項目に該当するのかどうか、またこの引き上げ率が「新旧家賃格差の是正」という美名のもとに正当化されるものなのか。一考の余地を残し、今後の弱者への対応施策を注目したい。

次に、年数回開かれる市議会には我々の市民生活を左右する指標が決まるが、市議会について、「情報公開」を一層充実させるため、そのつど議会特集号による周知をお願いしたい。これにより市民の政治関心を「知ること」から「感ずること」へ喚起させることになるのではないだろうか。

以上の二点を要望します。

新市長は、川上市政の継続発展から脱皮し、若杉イズムをもち、不偏不党の市民党市長としてあるべきもの。四十六万市民の一人としてこの四年間を見守りたい。

新潟市から

家賃の改正に関し、市は負担の公平化も事務事業の見直しの一つだと考えています。

また、家賃の改正は、四十九年度以前に建設された住宅だけが対象で、五十年度以降に建設された住宅の家賃との格差の是正や必要な住宅の管理費の確保などを図るため、入居者の家計に与える影響を最少限にとどめるよう配慮しながら平均で三九・一三％、月額平均第一種六千八百十三円を九千五百十七円に、第二種住宅四千二百三十五円を五千八百六十円に引き上げたものです。

道路の拡張を

斉藤 幸栄（鳥屋野・57歳）

市民の足をスムースに運ぶ道路を拡張して下さい。モータリーゼーション時代の昨今駐車スペースも狭く危険だらけの道路。増えても減ることのない車が走るだけでも頭が痛い現状である。

用を足す、重大な仕事をする、これらが思うにまかせないようでは、道路もその用をなさないことになる。

ドライバー同士がよくトラブルを起こす不安な場面に出くわす。道路状態から生じる、やむを得ぬ結果なのだろう。道路の整備が遅れては市も発展はしない。

人口もふくれ上がった。新県庁舎も移転が決定し完成図も公開された。千歳大橋も着々と工事が進んでいる。車と歩行者がスムースに通れる道路づくりに力を入れてほしい。

仮に、看板一枚でも通行のさまたげになるならば、小さな一つから改善して行かなければならない。道路はあくまで通行できる道でなければ意味はない。

一升ますに二升は入らない。無理があると少なからず事故が生じてくる。市民が安定した生活を送るためには、良い道路づくりが一番。転ばぬつえをまず作って頂きたい。

バランスの保たれた行政を

高岡 功（上新栄町・60歳）

西新潟に住んでいるから、この地区に「体育館を造れ」とか、年寄りになったから「老人福祉をもっと」とかーとは言うまい。だれでも自分に都合よくなることばかり求めても、できない相談だってあろうから。

それよりも、市長として現在から将来に向かっての全部的な展望に立って、何が必要か不必要か、先か後かーを判断し実行することではないか。要は、全体のバランスが保たれている行政を行うことで、各地区のエゴや特定政党色の要求は、むしろ邪魔として排してもらいたい。

私がかねてから心配していたのは、新潟の県都でありながら、とかく県と市の仲がもうひとつしっくりしていなかったことである。表面的には大したことでなくても、その内実の影響は大きかったのではないか。

今回の君知事発言は、その氷山の一角であり、積年のホオかむりのツケと言うべきであり、もう放置できない問題となった、と思う。

しかし、関係改善のため、市政の卑屈や開き直りを求めない。全体の政治・行政のバランス感覚からいって、市政としても、謙虚に直すべく、要求すべきことを、地道に真剣に模索してもらいたいものである。県と市とで、どちらが偉いというものではない。市職員にも、そのへんの機微をうまく徹底して、実を上げてもらいたいと期待する。

あすの希望を持たせる市政を

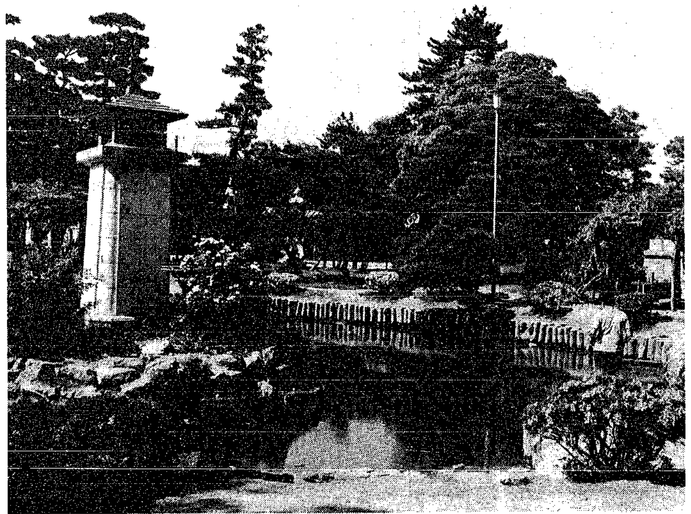
大橋 久治郎（南笹口2・72歳）

市政の第一は、言論の自由を守らなければならないことである。だれの意見も率直に聞くことである。その意見を受け入れることが市民参加の意義を有するからである。

第二は、私たちに生活と安定を与えなければならない。それは経済の発展に重点を置いた施策でなければならない。

第三は、住民の健康と平和な生活保障をすることである。この施策は社会福祉に重点がある。幸い、川上市政はこの点を重点施策として力を入れたので、新市長もぜひこれを継承してほしい。

第四は、市民の恐怖と不安を守らなければならない。信頼される市長であってほしい。今や世界的不況の中に立っているわれわれは、日々の生活にいくらかの陰がさしていることは否めない事実である。これを取り除く市政であってほしい。これが重要なポイントであろう。これら生活にも明日への希望を持たせる市政が必要である。幸い新幹線が開通した今日、裏日本への幕明けを迎えた新潟市は新市長を迎えて新しい市政を打ち立ててほしいものである。



市民の憩いの場所・白山公園——多くの市民の皆さんから〝もっと緑を〟の声が聞かれます。

70歳以上の医療費無料化を続けて

本間 春次（坂井・77歳）

老人医療の無料化だったものが法の改正で二月から一部有料となりました。七十歳をこえて、これからは少しでも家計の助けになると思って喜んでおりました。われわれ少額の年金で細々と暮らしている者にはたとえ少しの有料でもこたえてきます。それにわれわれより収入の五、六倍、十数倍の所得のある人も負担は同じです。これがよく言われる不公平と言うもので納得しかねます。これには最低線を設けて低所得者には法改正前のように改めて頂きたいと思います。二月十八日付の新潟日報によると、岩手県沢内村村長の太田さんは、法は改正されたが現在も改正前と同じく全国にさきがけて老人医療費の無料を継続する事を決定したと書いてありました。私はこれを読んで、やる気があれば市民のためなら勇気と努力もってやれば実行できるものと感心して読みました。

先日上京した折、二、三の友人に会った時の話しですが、前東京都美濃部知事が在職中六十歳以上の老人に都営の電車、地下鉄、バス等の無料パスを与えてくれたとのこと、友人たちは非常に喜んで、涙さえ浮かべて美濃部さんのような人がたくさん政治にたずさわっていて下されば世の中はいつも明るく平和の日が送れると心から感謝しておりました。

市役所跡地を公園に

塚原 美江（学校町3・66歳）

ああ緑がほしい、川がほしい、柳がほしい、桜がほしい、西堀、東堀どちらか残しておきたかった。市役所の跡地をぜひ公園にして下さい、お願いします。街のまん中に緑の公園があると気持ちがなごみます。交通事故もなくなり、有事の際の避難場所にもなります。新潟は緑が少ない、新潟の街は時代の波にのまれてしまった、残念至極です。昔の新潟はやさしかった。木を植えて下さい。お願いします。

駅前の所に噴水塔を立てて下さい。夜はネオンを入れて。乗り降りのお客さんは、どんなにか気分がさわやかになることでしょう。

跡地の所を公園にするのにお金が足りなかったら、市民から募金をしたらどうでしょうか。市民の公園になるのだから……。

もっと緑を！

川瀬 勉（日の出2・29歳）

新潟市だけでなく、自然がなくなりつつある昨今です。

かなり昔から言われていることであり、また、マスコミ等にも時々取り上げられていることなのですが、新潟市（特に市の中心部）には、緑があまりにも少なく感じられます。

たしかに、公園は年々増えてきているし、市も緑を増やしていくことや、守っていくことに努力はしていることと思います。

公園等に、もっと緑を増やし、さらに個性的な公園をつくっていってもらいたいと思います。たとえば、ある種の植物はかなりそろっているとか、具体的な例をあげるなら、ユリの仲間は新潟市のここへ行けばいろいろと見られるとか……。

たくさんの緑、大きな個性、何か考えていってもらえることを期待したいと思います。

たくさんの木と花を

内藤 美和子（五十嵐2・36歳）

新市長に望むことを、ひとつ上げるとすると、町にもっとたくさんの木と花と緑を増やしてほしいことです。

新潟には、ひとときの憩いを求めて、家族連れや子供連れで行ける場所というのが、あまりにも少ないのです。

私が生まれ育ってきた北海道の札幌には、広大な植物園があり、今もうっそうとした樹木と緑の草が目をなごませてくれます。レンガ造りの道庁の前には、イチョウ並木がありますが、大通公園の花壇には、春・夏・秋の季節の花が咲き誇っています。

前住地仙台は、「杜の都」とうたわれているほど、公園や緑が、あちこちにあります。

これらの地は、いずれも全くだれも手をかけずに木や花があるのではなく、行政の手によって守られているのです。

新潟にもぜひこれからは、木と花と草の緑を、町の中に増やしてほしいと願います。

もっとたくさんの木が植えられると、砂地のこの町も、砂漠のような印象の町から、緑の多い町の印象に変わっていくはずです。そして、町だけでなく、人の心も緑で潤ってくるのではないでしょうか。

死の湖と化した鳥屋野潟の清浄化を

浦野 又造（西堀前一・76歳）

新潟日報窓欄に、万代橋下流にみなと大橋を、関分以西に体育館を、新市長に就任された若杉市政に要望が寄せられたが、いずれも地域住民の切実な要請である。その他、市民の生活道路または公園、子供の遊園地など欲しいものがたくさんあるだろうが、ひどい汚れの死の湖と化した鳥屋野潟の浄化こそ、急務でないでしょうか。

市民待望の新幹線も開業し、副都心部となる駅南開発、特に鳥屋野潟周辺は文教地区として急ピッチに整備が進められているが、同潟の浄化整理が難航しているのが実状である。

同潟は、市の中心部に近く全国にも珍しい淡水湖で昔は水は清く周辺の環境は抜群だったが市の発展に伴って住宅化が進み、住民の汚水のたまり場となり、ヘドロや悪臭で汚染度は全国湖沼の中でワースト3とか。もはやこれ以上放置しておけない。

市は積極的に県や国に働きかけ、公園施設の実現を切望する。それによって駅南開発と相まって観光面に果たす役割も大きいのでなかろうか。

明るいホールがほしい

渡辺 美代子（旭町一・40歳）

先日、公会堂を訪れたところ、晴れた明るい日にもかかわらず刑務所を思わせるような重いドア、暗い雰囲気のロビー、電気をつけても暗いのです。明るい日差しはどこからも入ってきません。ここを訪れる人は、音楽とか演劇とか年に何回もない楽しみをもつためにやってくるわけです。そのときぐらい楽しい明るい気持ちになりたいものですが…。

ロビーは、ホールでの社交場といわれるところで、そこにはホールの中での感激をぶつけあったり、遠来の友人と会ったりするところだと思うのです。

ホールの中に入ってみると、舞台が非常に高く感じました。芝居が始まっても、寒い冬なのに暖房はきいてこず、ふるえるほどでした。

芝居も評判より迫力がないので、主催者に聞いてみたら、舞台のつりものに制限があるとのことでした。舞台も狭く、そでもなく、舞台転換がうまくできないとのことです。

素晴らしい芝居を、よりよい条件でみたいものです。そのためにも市長さん、早くホールを建て替えて下さい。

中央公民館　会員募集

会場　中央公民館

※申込方法欄中、①は電話、②ははがき、③は直接会場へ

グループ名	日時	内容	会費	申し込み・問い合わせ	申込方法
ぐみの会	2・4(水) 午前10時〜午後3時	七宝焼、たばこの害から健康を守る運動、ハイキングなど	3カ月 1,000円	渡辺 信子（水道町2－808、☎28－1068）	①③
新潟県世界青年友の会	2(金) 午後6時半〜8時半	青少年の国際交流	（年）2,000円 入会金 2,000円	松田 久美（新和168－16、☎85－6625）	①②
新潟市中央生活学校	2・4(木) 午前10時〜正午	身近な暮らしの問題	（年）1,000円	菊地（☎28－3825） 小川（☎75－1768）	①③
新潟八千代レオクラブ	1・3(土) 午後3時〜4時半	青少年育成（小3〜中2まで）、例会	（月）1,000円	新潟八千代ライオンズレオクラブ事務局（☎23－7755）	①
セミナー女性論	2・4(金) 午前10時〜正午	女、妻、母を決めるものは何か	（月）500円	磯部 正子（小針809－10、☎66－5496）	②
新潟郷土史研究会	3(土) 午後1時半〜4時	郷土の歴史研究、発表研修	（年）3,000円	笹川 勇吉（西堀通4、☎22－9822）	①③
新潟古文書研究会	2(火) 午後6時半〜8時半	新潟関係の古文書の読解と研究	（年）1,000円 他にプリント代	木下 広喜（古町10－1675、☎22－0567）	②
経済セミナー	2・4(水) 午後6時半〜8時半	「都市経済論」「経済学」学習	（月）1,200円	早川 周作（☎44－7841）	③
西域	2(木) 午後6時半〜8時半	NHK放映によるシルクロードを中心とした勉強会	（月）1,000円	大谷（片山商事内、☎74－1151）	①
グループ蕗	2・4(火) 午前10時〜正午	「歴史の中に生きた女性たち」（永井路子著）の学習と研修	（年）500円	高橋 正子（女池1097、☎83－1891）	③
女性史クラブ	1・3(月) 午前10時〜正午	戦後女性史と私たちのくらし	（半期）1,500円	倉 元（☎67－5474）	①
さわらび句会	4(水) 午後1時半〜5時	俳句の作り方、味わい方、実作指導	（月）400円	押木 大是（昼☎22－2323、夜☎69－2577）	①
こもれびの会	毎(金) 午後1時〜4時	総合文芸誌「こもれび」の発行	会費2,500円、分担金2,000円ほか	佐藤エイ子（☎44－9308）	①
あすか会	1(金) 午後1時〜4時	万葉集講義	3カ月 2,000円	今井 匡子（青山5－8－22、☎66－2216）	①③
蛙柳会	1(木) 午前10時〜正午	川柳の学習	（月）500円	広瀬 イソ（松美台1－39、☎67－9595）	①②
葦牙会	2・4(金) 午前10時〜正午	「日本書紀」の講読と「日本の祭り」	（月）1,000円 懇親旅行費別途	吉田 郁生（物見山2－20－7、☎73－1280）	①②
シュタイナー読書会	3(日) 午後1時半〜4時半	シュタイナー教育に関する本の読書会	（年）3,000円	子安（青山新町1－13、☎31－5203）	①②

グループ名	日時	内容	会費	申し込み・問い合わせ	申込方法
読書グループ「一葉」	2(土) 午後1時半〜4時半	古典、現代、外国文学書の中から選んで学習	半期 2,800円	吉沢 リツ（万代2、☎76－4860）	①
新潟良寛研究会	3(金) 午後6時15分〜8時半	良寛研究の基礎的学習	半期 3,000円	服部 欣一（関屋松波町3－325）	③
木馬の会	1・3・4(金) 午前10時〜正午	シュタイナーの幼児教育を読んで子供の成長を考えます	（月）700円	長谷川（☎46－3419）	①
「凪」新潟俳句会	1(日) 午後1時〜4時40分	実作を基本とした俳句研究（初心者歓迎）	（月）500円	関口 青稲（女池611－9、☎84－0947）	①②
新潟馬酔木会	3(水) 午後6時〜8時40分	馬酔木俳句の句会、研究会	（月）500円	二木 俊司（寺尾3－3－8、☎69－2767）	③
にいがた婦人ジャーナル	2・4(水) 午前10時〜正午	「にいがた婦人ジャーナル」誌の手作り発行	（月）500円	木下 信子（花町2070、☎22－9194）	①②
文机	2(火) 午前10時〜正午	文章学習	（月）1,000円	神津美智子（紫竹699－1、ニチメン紫竹ハイツ408、☎73－9954）	②
地平の会	2・4(水) 午後1時〜3時	詩の実作、勉強会	（月）2,000円	浜田 怜子（☎28－1433）	①
日本文学研究会	1・2(木) 午前10時〜正午	佐々木信綱の万葉集プリントにより講義、他	（月）500円	渡辺 重徳（沼垂東2、☎47－7986）	①
話し方同好会	1・2(金) 午後6時半〜8時半	人前でも話せるように	（月）1,000円	岩倉 春江（☎65－2306）	③
インチワーム	1・2・4(水) 午後6時半〜8時半	英会話※NHKラジオ英会話のきける人	（月）1,500円	山田（☎86－7953）	①③
話し方サークル	1・2・3(火) 午後6時半〜8時半	話し方の上達	（月）500円	中村（☎84－4585）	③
新潟シネマディクトクラブ	3(水) 午後6時〜9時	16ミリ映画自主上映、作品合評会ほか	（月）500円	佐藤 隆（☎73－2837）	①
ぐるーぷα（アルファー）	1・2・4(水) 午後6時半〜8時半	人物を対象としたデッサン、油絵、パステル	（月）1,500円	早川 久一（☎67－0445） 山際 正二（☎68－2795）	③
草丘会	1・3(火) 午後6時半〜8時半	日本画学習	（月）2,000円	石田 博（☎24－5688） 今井 曜子（☎68－4842）	①③
朝彩会（油彩）	1・2・3(月) 午前10時〜正午	油彩画全般	（月）1,000円	伊藤 英一（松海が丘1－1－19、☎31－7222）	①②
新潟美術クラブ	1〜4(月) 午前10時〜正午	油絵、水彩画の学習	（月）2,500円	遠藤 恒夫（新中浜2－1－13、☎62－1180）（住所、氏名、TELも記入）	往復はがきで

女性のための趣味の教室

期間　4月〜7月（月1回、4回コース）
会場　労働金庫本店ホール（寄居町）
申し込み　4月20日までに、はがきに住所、氏名、電話番号、受講種目を明記して労働金庫資料センター「趣味の教室」係（〒950 花園2-1-7、☎43－1995）へ

種目	開講日時	定員	受講料
七宝焼	第2(日)午後1時〜3時半	各30人（先着順）	無料 ただし、材料費は実費負担
紙人形	第3(日)午後1時〜4時半		
きもの着付	第4(日)午後1時〜3時半		

料理教室受講生募集

教室名	時間	テーマ	定員	会費
月曜コース	午前10時〜午後1時半	パンとサラダとお菓子	20人	(10回コース) 5,000円
火曜コース	〃	行事食（四季の味）	〃	〃
金曜コース	〃	電子レンジとオーブン料理	〃	〃
土曜コース	午後2時〜4時半	イタリア料理	〃	〃

期間　4〜6月
申し込み　今日午前10時から電話で北陸ガス古町サービスセンター（☎23－0495）へ

最近の洗剤について学習会

〜安全性と水質への影響〜

日時　3月24日午前10時〜正午
会場　中央公民館
申し込み　21日から電話で中央生活学校菊池（☎28－3825）、小川（☎75－1768）へ

催し物

鳥屋野地区公民館会場（☎85－2371）

教育セミナー「現代っ子の生活を考える」——助言者：田村功（山の下小教諭）
日時　3月24日午前10時〜正午
対象　小学生を持つ母親20人（先着順）
申し込み　電話で鳥屋野地区公民館へ

春休み親子映写会（入場無料）
日時　3月28日午後1時半〜
上映　「トンデモネズミ大活躍」ミッキーマウスの「クリスマスツリー」

手作りのひろば
日時　3月29日午後零時半〜4時
対象　小学生以上、大人も可。ただし奴凧のみ親子同伴の幼児も可
材料費　当日会場で徴収
申し込み　電話で鳥屋野地区公民館へ
※直接も可。ただしミニマスコット鈴は当日直接会場で受け付け

作る物	材料費	定員	持参品
奴凧	300円	100人	小刀、はさみ、定規
ミニクロンボ人形	350円	50人	はさみ
着物人形（サリカちゃん）	1,000円	20人	ビールびん、定規、はさみ、古手ぬぐい、目打ち
ミニフランス人形	500円	30人	はさみ、物差し
和紙づくり・ようじ入れ	300円	50人	のり、はさみ
和紙づくり・銘々皿（3枚組）	600円	30人	はさみ、物差し、ボンド、おしぼり
パンストフラワー（セントポーリアまたはマーガレット）	700円	30人	はさみ、ペンチ（小）
押絵（五月人形・金太郎）	1,000円	20人	目打ち、おしぼり、のり
ちぎり絵（さざんか）	500円	20人	はさみ（小）
桜まり（御殿まり）	800円	20人	はさみ（小）
和紙・筆立て	100円	30人	牛乳パック（1ℓ）2本、セロテープ、おしぼり
ミニマスコット鈴	70円	200個分	目打ち、はさみ、ボンド、おしぼり

保健婦による健康相談

月日	地区	会場	時間
3・23	北	北地区保健センター	午後1時半〜3時
3・24	中野小屋	笠木公民館	午後1時〜3時
3・25	両川	和田公会堂	午前10時〜正午
3・25	大江山	大江山農村環境改善センター	午後1時〜3時

※北地区は医師による相談です

ママへの準備教室

日時　4月1・15日午後1時半〜3時半
会場　東保健所
対象　58年8・9月分べん予定の初産婦各20人
持参品　母子手帳、エプロン、タオル
申し込み　電話で東保健所へ

安産教室（2回で1コース）

内容　映画「妊産婦体操」、お産の知識、リハーサル、家族計画など
持参品　母子手帳、体操のできる服装
申し込み　電話で希望会場へ（先着順）
※2回目以降は来所時に予約

月日	会場	時間	対象
4・6	東保健所	午前9時半〜11時半	58年7・8月分べん予定の初産婦30人
4・12	北地区保健センター	午後1時半〜3時半	
4・20	石山地区保健センター	〃	

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎43－5311
西保健所	☎66－5171
石山地区保健センター	☎86－4450
鳥屋野地区保健センター	☎85－2373
北地区保健センター	☎59－7332
西地区保健センター	☎62－3405
坂井輪地区保健センター	☎60－3255

離乳食講習会

持参品　母子手帳
対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん

月日	時間	会場	申し込み
3・22	午後1時15分〜3時半（受付は午後1時〜）	坂井輪地区保健センター	電話で会場へ
3・23	午後1時〜3時半	東保健所	当日会場で
3・24	午前10時〜午後零時半（受付は午前9時半〜）	西保健所	〃

育児学級

日時　3月23日午後1時半〜
会場　木戸公民館
対象　木戸・牡丹山・竹尾校区在住で57年12月または58年1月生まれの第一子をお持ちのお母さん
持参品　母子手帳
問い合わせ　東保健所へ